

専門科目試験（看護教育・看護管理学）

1. 近年注目されている「心理的安全性」は、組織の成果を生む一つの要因であると言われています。心理的安全性のある組織づくりのためにはどうすれば良いか、あなたの考えを述べてください。（50 点）

（作題の意図）

看護管理者は組織の責任者として、職員が働きやすい環境を構築する必要がある。働きやすさにはハード・ソフト両面の要因があるが、近年「心理的安全性」という概念が注目されている。管理者として、その概念への認識をもっているか、また心理的安全性についてどう解釈し管理者としてどう取り組むべきと考えているのかを問う。

（解答例）

心理的安全性は、組織と個人の両者にとって利益を生むものである。職員が、組織の指針を共通認識したうえで、お互いの信頼関係・相互理解が生まれるような環境づくりが必要である。管理者は、組織のビジョン・ミッションを提示しつつ、職員の自発性を促すような場や機会を提供し、職員の多様性や個性を尊重する組織風土を醸成していく必要がある。

2. 目標管理制度は多くの組織で活用されています。目標管理制度の概要と、その制度のメリット・デメリットについて述べてください。（50 点）

（作題の意図）

目標管理制度は広く活用されているマネジメント手法で、医療界においても導入される傾向にあるが、一方ではその制度の長短が問われる側面もある。目標管理制度の概要の理解と医療・看護の領域における活用の課題等についての理解を問う。

（解答例）

メリット：適切な目標設定をすることで、職員の自律を促しその成果によって組織全体の質向上へとつなげることができる。職員とその上位者とのコミュニケーションが増え、人材育成の場となる。

デメリット：医療・看護の領域では数値目標を設定できるものが少なく、質的な評価になりやすいため、目標達成度の評価が困難となる。目標達成そのものに意識が集中し、目標達成行動の過程を軽視しがちとなる、目標以外の他の業務についておろそかになる、などの問題がある。